

平成 28 年度 事務事業評価シート (平成 27 年度実施事業)

整理番号 保地02

事務事業名		緊急通報システム運営事業			予算科目	会計	8	介護保険特別会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち			款	7	地域支援事業費	
	施策(節)	3	高齢者福祉			項	2	包括的支援事業・任意事業費	
施策の方向	(1)	地域包括ケアシステムの構築				目	2	任意事業費	
関連する計画等	羽曳野市高年者いきいき計画					事業	3	その他事業	
事業の概要 (目的・内容)		目的: 65歳以上ひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯、昼間独居世帯の市内在住の在宅高齢者に対して緊急時や不安解消のための相談などを24時間365日の体制で受け付け、在宅高齢者の不安感を解消する。 内容: ひとり暮らし高齢者等に対し、急な疾病や災害時に迅速かつ適切に対応するため、緊急通報装置の設置と緊急時における連絡体制及び必要な対応の実施体制を整備することにより、緊急時等における不安感の解消を図り、もってひとり暮らし高齢者等の地域福祉の向上を図っている。							
		根拠法令等		羽曳野市地域支援事業等実施規則、羽曳野市緊急通報システム運営事業実施要綱					
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 10年以上	<input type="checkbox"/> 5年以上10年未満	<input type="checkbox"/> 5年未満(平成 年度開始)					
事業開始時からの状況変化		以前は国庫補助による給付事業であったため、受益者負担負担なしで実施してきたが、平成18年度より月額500円程度の受益者負担金が必要となった。平成26年度より事業費の一部が地域支援事業からの支出となった。平成27年2月よりオプションサービス(鍵預り)を追加した。平成28~32年度で債務負担の予算を組んでいる。							
実施手法		<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金・助成金	<input type="checkbox"/> その他( )			
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称( )			委託内容	・装置の設置及び管理 ・24時間365日緊急時や相談時対応する			
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他							

区分		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	活動単位当たりコスト	
事業費【1】 (千円)		5,252	5,729	5,971	7,428		
人件費【2】 (千円)		2,778	2,638	2,275	2,350		
職員数	正規職員	0.32 人	0.30 人	0.24 人	0.23 人		
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	嘱託員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	臨時職員	0.30 人	0.30 人	0.00 人	0.00 人		
	非常勤職員	人	人	0.30 人	0.35 人		
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間		
総事業費 (【1】+【2】) 【A】 (千円)		8,030	8,367	8,246	9,778	成果指標①	
財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	1,279	1,254	1,438		
	府支出金 (千円)	0	640	628	720		
	市債 (千円)	0	0	0	0		
	その他(使用料・手数料等) (千円)	0	679	705	809		
	一般財源 【B】 (千円)	8,030	5,769	5,659	6,811		
活動指標 (事業の活動実績) 【C】 単位		25年度	26年度	27年度	28年度 (見込み)		
① 出動件数及び相談件数 件		626	669	649	700		
②							
活動単位当たりコスト 【A】÷【C】①		12,827 円	12,507 円	12,706 円	13,969 円		
活動単位当たり一般財源額 【B】÷【C】①		12,827 円	8,623 円	8,720 円	9,730 円		
市民1人当たりコスト 【A】÷人口		69 円	72 円	72 円	86 円		
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 28.2 %	▲ 1.9 %	20.4 %		
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓)		<input type="checkbox"/> 1. 制度改正・事業の見直しなど <input type="checkbox"/> 3. 物価・賃金水準などの変動 <input type="checkbox"/> 5. その他( )					
※該当項目すべてに✓		<input checked="" type="checkbox"/> 2. 左記1によらない対象件数などの増減 <input type="checkbox"/> 4. 国庫支出金など特定財源の増減					

成績を達成する成績目標	指標名		単位	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	① 通報に対する対応割合 (又は説明)	② (又は説明)		%	目標	100	100	100	達成率(%)	100	
		実績			100	100	100	達成率(%)	100.0%		
			目標						達成率(%)		
			実績						達成率(%)		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1 法令上の義務	2 受益者が不特定多数	3 最低限の生活水準を確保	4 市民の不安を解消	5 社会的経済的弱者を対象	6 民間だけでは負担しきれない	7 民間だけでは供給不足	8 市の特色等を市内外へ発信	9 第三者にも受益がある	
				○	○	○	○			有

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明		
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひとり暮らし世帯や高齢者のみの世帯の方は、在宅での急病や緊急時の対応について不安を抱いている。それらの高齢者の方々に安心安全な生活を送る一助となっている。			
	市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	近隣市と協働して実施しているサービスであり、コスト面での統一が充分に図られている事業である。なお、平成28年度において入札に付し、委託料の見直しを行った。また、システムについて民間力を活かせるノウハウも整っているため効率性も高い。			
	使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	国・府の事業や市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
協働性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急連絡先として、近隣者や民生委員等をあらかじめ登録し、初期相談の段階で協力していただいている。また、常日頃からの見守りにも貢献していただいている。			
	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急通報への対応は確実に実施されている。			
達成度	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急通報への対応は確実に実施されている。			

担当部局評価	総合評価			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止
	(概ね現行どおり継続して実施)	(実施方法の改善を検討する)	(事業規模の縮小を検討する)	(廃止・休止を検討する)
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)			
緊急通報事業は地域による見守る等（あんしんシステムなど）のひとつのツールとして位置付けている事業であり、今後も地域との協働により充実を図る。しかし、地域での支援者が存在しない高齢者も増加している事実があるため、その対応について検討を行い、より充実した事業となるよう取り組む。なお、平成28年2月から対象者宅の鍵を預かるオプションサービス（希望者のみ）を開始している。				

行革本部評価	総合評価		評価理由・意見
	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	
	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	